

2—16

地域住民のロコモティブシンドロームの現状とメタボリックシンドロームとの関連性

¹ 公益財団法人北陸体力科学研究所研究推進課, ² 医療法人社団勝木会芦城クリニック

○松儀 怜¹, 勝木 道夫²

【目的】我々は地域住民のロコモティブシンドロームの現状とメタボリックシンドローム関連リスクとの関連性の把握を目的に, 特定健診を活用した横断調査を実施した。

【対象】H26年度の小松市特定健診受診者のうち, 隣接医療機関で受診した1125名中, 本研究の趣旨に同意した599名(男性:275名, 女性:324名, 平均年齢:69.4±9.2歳)とした。

【方法】1. ロコモ状況

公益社団法人日本整形外科学会ロコモチャレンジ! 推進協議会が提唱している評価方法, 「2ステップテスト」でロコモリスクの有無を, 「ロコモ5」でロコモ該当の有無を各基準値に基づき調査した。

2. メタボリスクとロコモリスクの関連性

糖尿病, 脂質異常症, 高血圧症が治療中の者, または肥満, 血圧, 脂質, 血糖が基準値(特定健康診査・特定保健指導における保健指導判定値に準拠)を超えた場合, それぞれメタボリスク1個と判定し, 対象者をリスク無し・1個・2個・3個以上の4群に分類した。これらのメタボリスクを独立変数, 2ステップテストによるロコモリスクの有無を従属変数, 喫煙, 飲酒, 運動習慣の有無を調整因子としたロジスティック回帰分析にて関連性を解析した。

【結果】1. ロコモ状況

2ステップテストによるロコモリスク該当者は594名中363名(男性166名, 女性197名), 61.1%。ロコモ5によるロコモ該当者は, 595名中70名(男性23名, 女性47名), 11.7%であった。

2. メタボリスクとロコモリスクの関連性

メタボリスク数が増加するほど2ステップテストの陽性率が有意に増加し, リスク無し群と比較し相対的危険度が1.76倍, 2.16倍, 3.01倍と上昇した。

【まとめ】地域住民の中にも, 一定数ロコモリスクを有している住民が存在していた。また, メタボリスクと運動機能低下との関連性も認められた。今後, ロコモの基礎疾患状況や痛みなどの要因との関連性を調査しつつ, これらの問題に対する早期発見, 予防・改善を目的とした包括的介入を行うことが重要と思われる。